



令和4年12月15日

加賀市議会
議長 稲垣清也様

総務経済委員会
委員長 上田朋和

教育民生委員会
委員長 山口忠志

令和4年度議会報告会における参加者からの意見・提案について(報告)

標記の件について、本委員会において、調査・意見集約を行い、別添のとおり取りまとめましたので、報告いたします。

1. 報告資料

各委員会の調査結果

資料1：総務経済委員会及び教育民生委員会

令和4年度議会報告会 参加者からの意見・提案等一覧表

テーマ① 住みよいまちづくりについて～加賀市の人口増をめざして～

テーマ② 教育の振興について～充実した学びの環境づくり～

テーマ③ 北陸新幹線加賀温泉駅開業に向けて～加賀市の玄関口としてふさわしい空間及び
にぎわいの創出をめざして～

資料 1

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
1	①	公共交通	金沢駅から大聖寺駅間の電車が非常に少ないため、高校生が大聖寺へ通いにくい。 電車の便を増やすよう働きかけてほしい。	市では、小松駅以西を運行する便数を増便するよう、これまでもJR西日本に対して働きかけを行ってきました。しかし、小松駅より西側の駅利用者が少ないことなどから実現には至っておりません。
2	①	公共交通	高齢者の交通の確保をしてほしい。 免許返納後の交通の充実をしてほしい。	市では、乗合タクシー「のりあい号」の運行により市内全ての町に停留地点を設けることで交通空白地がない公共交通を実現しているとのことです。平日では1日(上下線合わせて)11便を運行しており、予約が必要ですが、お一人からご利用可能で、タクシーの1メートル当たりの料金より安くご乗車いただけます。
3	①	公共交通	小松市のように市内高校生のバス運賃について、助成してほしい。	市では、高校生のバス運賃助成は行っておりませんが、11月よりスマートフォンを活用した1日割引乗車券の販売を始めています。

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
4	①	公共交通	加賀温泉駅から山代、山中、片山津、大聖寺へのアクセスを充実してほしい。	<p>加賀温泉駅から山代温泉、山中温泉へは片道20本、片山津温泉へは片道10本、大聖寺へは片道9本の路線バスが運行しており、また、大聖寺へはJR線が22本運行しております。その他、キャンバスののりあい号でのご移動も可能となっております。</p>
5	①	公共交通	<p>乗合タクシーを簡単に利用できるようにしてほしい。 予約方式をやめることや降りるところが決まっており、自由に移動できないことを解消してほしい。 乗合タクシーを手を挙げれば乗れるシステムにしてほしい。</p>	<p>のりあい号は事前にご予約をいただくことや停留地点を定めることで乗降場所を効率化し、乗り合わせを行っております。このことにより、一人当たりの運賃が抑えられているとのことです。停留地点のない自由乗降では運行の予定が立てられず、他の利用者の移動時間にも影響するため、乗合タクシーでは対応できないとのことです。そのような場合は一般のタクシーをご利用くださいますようお願いいたします。</p> <p>市議会としましては、公共交通の充実が市民生活の利便性向上のために不可欠であると考えており、今後も市当局に対し、公共交通の充実を図る取組がなされるよう働きかけを行ってまいります。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
6	①	移住・定住策	出会いの場が少ないため、若者向けのイベントの充実を図ってはどうか。	市では、月1回の結婚相談、婚活イベントの開催、婚活セミナーの開催などを包括的にNPO法人に委託しています。また、ボランティア仲人であるかが縁結びさんが結婚を希望する男女に対して直接的に支援できる体制を整えています。
7	①	移住・定住策	加賀温泉駅の近くに住宅団地を建設してはどうか。	市が推進している加賀ライズタウンでは、民間主導による加賀温泉駅周辺の居住エリアの整備実現を目指しており、具体的な提案があれば協力することも検討したいとのことです。 なお、高齢化などの影響で居住者が減っている松が丘団地を再生させる取組については、民間事業者に取り組んでいただいていると聞いています。
8	①	空き家対策	町中の空き家対策の補助金を充実してほしい。	市では、住宅取得助成事業補助金として、45歳未満の方が住宅を取得する際にその住宅取得費の一部を助成しています(空き家バンクに登録されている物件を購入した場合は加算があります)。 また、平成30年度から危険空家等の解体費に対する助成制度を設けたところ、平成30年度は14件、令和元年度は13件、令和2年度は21件、令和3年度は33件の助成を行いました。今年度は当初予算に30件分計上されており、7月までに21件の申請があり、相談も多いことから9月の補正予算で10件分追加で要求しました。助成額は、平成30年度から令和2年度まで1件当たり25万円としていましたが、解体助成の件数及び相談件数が年々増加していること、また、早期除却の促進を図ることなどの理由により、令和3年度から1件当たり50万円に増額しています。 市議会としましては、移住・定住の促進に向けた取組や空き家対策など、人口減少対策の促進のため、市当局に積極的に働きかけてまいりたいと思います。

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
9	①	企業誘致	工場を誘致して、若者が働く場所を確保してほしい。子育て関係は充実していると思うが、サービス関係だけではコロナ禍により人員の削減で安定した職に就けない。まず働く場所を確保。	ハローワーク加賀の令和4年8月の有効求人倍率は1.75(正社員1.51)で、求人数や倍率は製造業等が増えている状況とのことです。
10	①	企業誘致	ドラッグストアや高齢者施設だけではなく、レジャー施設を建設してほしい。	レジャー施設等のサービス業の誘致については、これまでも誘致活動を行ってきましたが、商圈分析において、立地が難しい状況にあるとのことです。
11	①	企業誘致	加賀温泉駅前にビジネスホテルや様々な企業を誘致してはどうか。	加賀温泉駅の周辺地のビジネスホテル等の商業施設誘致につきましては、市ではこれまでも事業者からの立地等の相談を受けておりますが、現在のところ事業適地がない状況とのことです。
12	①	商業振興	加賀市の特産物を扱う道の駅を建設してはどうか。	道の駅は、休憩施設としてだけでなく、地域の活性化を図るため、地元の物産品の販売などを行う商業施設としての役割が求められており、道の駅を新しく整備する際、その商業施設などの運営を行う事業主体が必要となりますが、以前に市で検討した際、そのような事業主体がなく、現在でも、道の駅建設の計画はないとのことです。 市議会としましては、雇用の創出と安定、地域の活性化などを図るため、企業及び商業施設の誘致を積極的に行っていくよう、当局に働きかけてまいります。

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
13	①	産業振興	伝統産業の担い手となる若者に対し、衣食住に関してサポートし、担い手の確保をしてはどうか。	<p>市では、伝統産業の担い手を確保するため、後継者育成事業及び伝統工芸等担い手工房開設・借上支援事業を行っております。後継者育成事業では、山中漆器と九谷焼の後継者となる意思を有する方のために1年～3年の期間で月額5万円支給しております。この事業では、研修会への参加経費から参考文献の購入等の自己研鑽に必要な経費まで、幅広く支援をしています。</p> <p>また、伝統工芸等担い手工房開設事業では市内で工房を開設した場合の設備購入費を、借上支援事業では物件を借り上げて開設した工房の家賃を補助しており、担い手確保のために手厚い支援を行っています。</p>
14	①	教育機関誘致	大学、工業専門学校を新設してほしい。	<p>大学、工業専門学校は、高等学校卒業後の進路の一つとして、人口流出対策にも資すると考えられることから、大学、工業専門学校の誘致に取り組んでいくとのことです。</p>
15	①	大聖寺駅	大聖寺駅前ロータリーを整備し、駅周辺のにぎわい創出を図ってほしい。	<p>市では、大聖寺駅舎をJR西日本から譲り受け、コワーキング施設とベーカリーショップを備えた大聖寺ゲートウェイとして整備しております。大聖寺駅前ロータリー周辺には空き店舗がありますが、まずは大聖寺ゲートウェイに人を集め、大聖寺ゲートウェイを核とした人の流れができた後に駅前ロータリー周辺の整備について検討していくとのことです。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
16	①	道路整備	サイクリングロードを充実してほしい。	<p>サイクリングロードの充実につきましては、本市の自転車計画「自転車のまち推進計画」において掲げております。また、石川県全域の自転車ルート「いしかわ里山里海サイクリングルート」についても、今後、県とともに整備を進めていく予定とのことです。</p> <p>なお、通常の維持管理については、定期的なパトロールを行い、危険個所の補修工事を行っていると考えております。</p>
17	①	道路整備	国道8号と北陸新幹線が停まる加賀温泉駅をつなぐ道路の整備をしてほしい。	<p>イオン加賀の里店前の市道C第248号線、JA加賀前の県道片山津山代線の整備が既に完了しており、国道8号から加賀温泉駅への大規模な渋滞が確認されておらず、緊急車両の通行にも影響は少ないことから、道路整備の必要性はないと考えております。</p> <p>ただし、今後周辺の土地利用に大きな変化がありましたら検討していくとのことです。</p> <p>市議会としましては、今後も当局に対し必要に応じて道路等の整備を行うよう、働きかけてまいります。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
18	①	高齢者支援	デイサービス支援、一人暮らし支援などを拡充してほしい。	<p>市では、高齢者向けのデイサービスについては、心身の状態に応じて様々なサービスを用意しており、最適なサービスを選択できるよう身近な地域で相談できる体制も整えているとのことです。</p> <p>また、一人暮らしの困りごとについても同様に相談を行い、安心して暮らせるよう、市や民間、ボランティアなどの各種支援の紹介なども行っています。</p>
19	①	障がい者支援	障がいのある人のために雇用先の確保やインクルーシブ公園を造ってほしい。	<p>障がいのある方の雇用先の確保については、ハローワークや障害福祉サービス事業所とともに、企業向けセミナーや障がい者向け相談会を開催したり、働く障がい者情報誌「クローバー」を全戸配布するなど、障がい者の雇用について理解促進を図っているとのことです。</p> <p>また、インクルーシブ公園については、加賀市中央公園やその中にあるかがにこにこパークでは、子供の年齢や障がいの有無にかかわらず楽しめるよう様々な配慮をしていると聞いております。</p> <p>市議会としましては、高齢者及び障がいのある方がより住みよい市となるよう、これらの当局の取組を注視し、さらなる支援の検討について働きかけてまいります。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
20	②	教育	企業がどのような人材を求めているのかを調査し、調査結果に基づき、学校のカリキュラムを組んで人材を育ててはどうか。	<p>文部科学省では、日本や世界の情勢、社会のニーズ、これまでの日本型教育の成果や課題等を踏まえ、また様々な領域の専門家、有識者、経済団体代表等の意見を聴取しながら、2020年度に、新たな学習指導要領を定め、国の目指す教育の方向性に沿った教育課程の基準を示しています。各学校においては、この基準に沿って、子供たちが自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力を育成するようカリキュラムを編成しているとのこと。</p> <p>これからも、予測困難な時代をたくましく生き抜く力を持った加賀市の子供たちを育成していくため、カリキュラム編成やカリキュラム・マネジメントを工夫しながら人材育成に取り組んで行くと考えております。</p>
21	②	教育	部活動を強化し、市外からの進学率を上げてはどうか。	<p>市では、令和2年度に、市内中学生とその保護者を対象に高校進学に関するアンケート調査を実施しております。</p> <p>高校を選択するに当たっては、大学進学や就職など将来を見据えた学習環境、校風や学校の雰囲気などが重要視されている状況とのこと。</p> <p>部活動に関しては、生徒の約1割が重要と答え、保護者の1割強が部活動の活性化が進学率向上に効果的であるとのこと。</p> <p>そのような状況を踏まえ、本市が市内全日制高校との連携の下で進めている高校魅力化事業において、高校が部活動の充実を図ることも提案していくと考えております。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
22	②	教育	授業に取り残された、グレーゾーンの生徒の教育もしっかり行ってほしい。	<p>市では、特別支援教育の充実を図り、個に応じたきめ細かな指導・支援を実践していくことは大変重要なことであると認識しており、全ての児童生徒が「わかった、できた」と学び喜びを実感できる授業づくりを目指しているとのことです。また、個々の児童生徒の習熟度や理解度に応じて、休み時間や放課後の時間を活用して補充学習を行い、学習内容の定着を図るようにしていると聞いております。</p> <p>加賀市内の各小・中学校には、教育支援員が約70名配置されております。加賀市の教育支援員の配置率は県内トップレベルであり、教育支援員は、学習で困り感のある児童生徒や特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を行っております。また、市内小学校8校には「通級指導教室」が設置されており、通常学級に籍を置きながら、週に数時間「通級指導教室」に通い、個々の特性・能力に応じた学習が行われております。</p>
23	②	教育	加賀市は観光都市なので、語学教育の充実をしてほしい。	<p>市では、社会の急速なグローバル化の進展の中で、語学教育の充実を図っていくことは大変重要なことであると認識しており、小・中学校において、英語をより多く聞いたり、話したりすることができるよう、そして実際の使用場面や状況、相手に応じたコミュニケーションができるように、中学校ではALT(外国語指導助手)を、小学校では英語授業補助指導者を1校に1人配置しております。</p> <p>また、英語検定の合格を目指して「かがっ子休日スクール」を開催し、学習支援を行っております。さらに、GTEC(英語力測定テスト)を中学校1年生、2年生で実施し、4技能(話す・読む・書く・聞く)を測定し、生徒自身が自分の強みと弱みを客観的に知り、GTECからのアドバイスとワークブックを英語学習に役立てるとともに、教師はGTECの結果を授業の改善につなげているとのことです。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
24	②	教育	小学校、中学校の校区の見直しが必要ではないか。	<p>各校区の児童数、生徒数の推移を見極めながら、学校施設の老朽化も踏まえ、必要に応じ校区の見直しを検討していくとのことです。</p>
25	②	教育	閉校、閉園した小学校及び保育園の活用をしてほしい。 不登校となった子供たちの居場所にできないか。	<p>旧黒崎小は民間事業者によるフリースクールとして活用しています。旧三木小についても、教育総合支援センター移転候補地として今後検討していくとのことです。 今後も旧学校施設の活用については、地元の方々の意見もお聞きしながら検討していくとのことです。</p>
26	②	教育	築年数が経っている古い校舎を改修してほしい。	<p>市では、学校規模適正化に向けての基本計画を策定し、計画期間の中間点となる5年を迎えたことから計画の見直しを図ることとしております。また、昨年度に策定した加賀市学校施設長寿命化計画により、課題が明らかになりましたので、その内容も踏まえ、学校施設の改修について検討していくとのことです。</p> <p>市議会としましては、少子化が進む中で、現在の様々な教育課題について調査、研究を行いながら、よりよい教育施策について、市当局に対し提案及び提言を行ってまいります。</p>

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
27	③	北陸新幹線	加賀温泉駅に滞留できるような観光施設を、駅構内または駅周辺に建設してはどうか。	市では、北陸新幹線加賀温泉駅開業に併せて、新幹線高架下に、壁面や天井を九谷焼や山中漆器等の伝統工芸品で装飾した都市施設（観光案内所、待合室、トイレ等）を整備する予定とのことです。また、駅正面の広場には、市民や来街者が滞留し、くつろぐことができる大型屋根施設を整備する予定とのことです。
28	③	北陸新幹線	北陸新幹線の発着が見える展望台を作ってほしい。	北陸新幹線加賀温泉駅のホームは、駅舎建屋に覆われており、新幹線の発着状況を展望台から確認することは困難であると思われるため、駅前広場に展望台を建設することは考えていないとのことです。
29	③	北陸新幹線	加賀温泉駅前に加賀市を代表するモニュメントを設置してはどうか。	駅正面の広場に、駅前のシンボルとなるような大型屋根施設の建築を計画していると聞いております。
30	③	北陸新幹線	最終電車まで駅を明るくする夜のライトアップをしてほしい。	加賀温泉駅前広場については、最終電車を利用される方にとって、安全で安心な空間となるような照明の配置、運用をするとのことです。
31	③	北陸新幹線	定期的に加賀市の祭りを加賀温泉駅前で開催してはどうか。	加賀温泉駅前等において集客イベントを開催する場合は、その趣旨や目的が、市の観光振興や賑わい創出に資するものであれば、後援や支援を行っていくとのことです。

No	関連するテーマ	項目	内容	回答欄
				意見・提案に対する考え方
32	③	北陸新幹線	加賀温泉駅前の駐車場の数が少ないが、もっと増やしてほしい。	<p>現在、加賀温泉駅前広場では、広場改修工事のため駐車場台数を制限しており、駅利用者の方には、ご不便をおかけしていますが、北陸新幹線開業までには駅前駐車場を整備し、必要な駐車台数を確保する予定とのことです。</p> <p>市議会としましては、新幹線関連整備・開業効果特別委員会を設置し、新幹線関連整備の促進及び開業効果に関する調査・研究を進めるとともに、市当局への提言などの働きかけを行ってまいります。</p>